

東近江市のまちづくり協議会

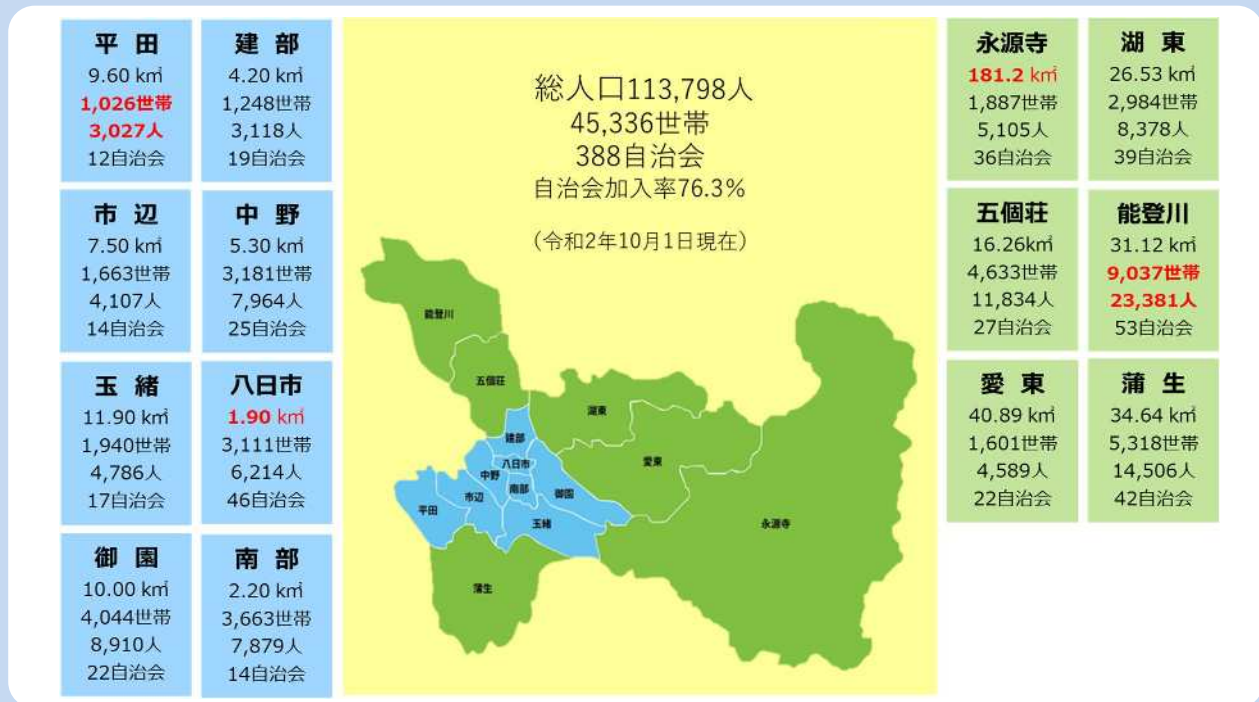
令和2年度 各地区の取り組み



まちづくり協議会のあゆみ

◇東近江市の誕生

平成 17 年 2 月 11 日に 1 市 4 町(八日市市・永源寺町・五個荘町・愛東町・湖東町)が合併。
その後、平成 18 年 1 月 1 日に蒲生町・能登川町と合併し、現在の形になりました。



◇まちづくり協議会の誕生

合併することにより、行政サービスの低下、各地区の個性や伝統文化が失われることが懸念されました。

そこで、市民が自主的に参加して、それぞれの地域課題を解決し、各地域の個性を活かしたまちづくりを行うため、東近江市の14地区すべてで「まちづくり協議会」が組織されました。

平成 26 年 4 月に「協働のまちづくり条例」が施行され、その中で、まちづくり協議会の位置づけ等も定められました。

まちづくり協議会は、まちづくりに包括的に取り組む団体として、また、行政の重要な協働のパートナーとして、ますます活躍が期待されています。

現在、14地区全てのまちづくり協議会が、各地区にあるコミュニティセンターを拠点として活動しています。



◇まちづくり協議会の設立日及びコミュニティセンター指定管理開始日

協議会名	地区人口 (人)	協議会設立日	コミュニティセンター 指定管理開始日
平田地区まちづくり協議会	3,027	平成17年 12月23日	平成23年 1月1日
市辺地区まちづくり協議会	4,107	平成19年 2月25日	平成23年 10月1日
玉緒地区まちづくり協議会	4,786	平成18年 12月10日	平成24年 1月1日
御園地区まちづくり協議会	8,910	平成18年 10月21日	平成24年 10月1日
建部地区まちづくり協議会	3,118	平成18年 2月25日	平成23年 10月1日
中野地区まちづくり協議会	7,964	平成18年 12月9日	平成24年 4月1日
八日市地区まちづくり協議会	6,214	平成18年 12月2日	平成24年 4月1日
南部地区まちづくり協議会	7,879	平成17年 9月19日	平成23年 4月1日
永源寺地区まちづくり協議会	5,105	平成17年 9月30日	平成26年 4月1日
五個荘地区まちづくり協議会	11,834	平成18年 3月18日	平成25年 4月1日
愛東地区まちづくり協議会	4,589	平成17年 5月21日	平成24年 10月1日
湖東地区まちづくり協議会	8,378	平成17年 7月14日	平成24年 4月1日
(一社)能登川地区まちづくり協議会	23,381	平成19年 3月10日	平成24年 4月1日
蒲生地区まちづくり協議会	14,506	平成18年 11月18日	平成25年 4月1日

※地区人口は令和2年10月1日現在

※(一社)能登川地区まちづくり協議会は、平成25年4月1日に法人化されました。

◇東近江市協働のまちづくり条例（抜粋）

(まちづくり協議会)

第18条 まちづくり協議会とは、地区の課題解決と個性を生かしたまちづくりに取り組むため、多様な主体が参加して自主的に設置する地域自治組織をいう。

2 市は、次の各号の要件を満たすまちづくり協議会を、一地区について一団体を認定するものとする。

- (1) 地区自治会連合会等の多様な主体が参画し、地区のまちづくりに包括的に取り組んでいること。
- (2) 地区のすべての市民を対象としていること。
- (3) 民主的な運営を行うため、規約を定めていること。
- (4) 地区のまちづくりの基本方針等を定めた「地区まちづくり計画」を策定していること。

(5) 運営に当たる役員や代表者は、民主的に選出されたものであること。

(6) 運営の透明性が確保されていること。

3 市は、まちづくり協議会の認定後、前項に規定する要件を満たしていないと認めた場合は、改善を求めなければならない。

4 市は、まちづくり協議会の活動を尊重し、技術的及び財政的援助等の必要な支援を行うものとする。

5 市民は、まちづくり協議会の活動に積極的に参加し、相互の交流を深めながら協働するものとする。

6 まちづくり協議会は、地区の課題を解決するため、市及びその他の組織と協働してまちづくりを推進するものとする。

7 まちづくり協議会は、各地区コミュニティセンターをまちづくりの拠点とし、市と協働して運営するものとする。

● 平田地区まちづくり協議会

(愛 称) ひらた夢回議

(テーマ、スローガン) 平田地区で、誰もが住み続けたい、住んでみたくなるまちづくり

【令和2年度】

設立日	平成17年12月23日	認定日(当初)	平成18年 1月16日
コミセン 指定管理開始日	平成23年 1月 1日	認定日 (条例による認定)	平成27年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市下羽田町 84-5 平田コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-22-1950 〈IP 番号〉 050-8034-1950 〈FAX〉 0748-22-1950 〈e-mail〉 hirata-co@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://hirata-yumekaigi.com		
代表者	会長 増田 伊知郎	会員数	地区住民
会議・組織	本会役員 …会長、副会長3名、会計、事務局長、会計監事2名 評議委員会 …自治会長12名 企画運営委員会 …本会役員(会計監事を除く)、特別部会長、専門部会長 地域担当職員		
予算等の概要	〈一般会計〉まちづくり総合交付金:1,389千円/その他:288千円 〈指定管理会計〉 コミセン指定管理料:13,457千円/その他:1,543千円 雪野山歴史公園等指定管理料:3,680千円/その他:91千円 平田体育館等指定管理料:6,643千円/その他:214千円 〈業務委託〉地域子育て支援拠点事業運営委託料:4,800千円		
情報紙の発行	平田のみんなの情報誌「ひらたから」(A4版) 毎月発行 発行部数 1,000部/月 主な内容 活動報告、行事案内、お知らせ 等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	■自治会連合会との連携 自治会連合会と連携を密にして効果的な事業推進に努めています。 ○合同研修会の実施 令和2年度は、中島伸男さん(元八日市市史編さん室長)を講師にお招きし、平田地区の歴史について学びました。 ○まちづくり懇談会の開催 雪野山等の地域資源活用の視点からの整備と地元発信型観光等地域活性化事業の推進をテーマとして、行政とまち協・自治会連合会の役員が意見交換を行いました。		



指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【若者定住】

- ・水鉄砲合戦プロモーション活動

これまでの大会を振り返り、水鉄砲合戦の魅力を伝える解説冊子を作成した。

【子ども・子育て応援】

- ・「げんきっこ・ひらた」の活動



- ・つどいの広場「すすかけっこ」の運営



【高齢者福祉】

- ・第3回ひらた健康教室の開催
誰もが楽しめるスポーツや自宅で行える体操などを体験できる教室を開催しています。
- ・命のバトン事業



【田園環境】

- ・第3回「平田の田園環境」写真コンテスト
- ・地域散策ガイド事業
- ・花の咲く雪野山散策路の整備
散策路両脇 2mの範囲内の常緑広葉樹や高木になる木を伐採し、日当たりのよい環境を作った。



【地域活性化】

- ・カルチャーウォーク「三和姫伝説の地を歩く」の開催
- ・ホームページのリニューアル

【公園管理運営】

雪野山歴史公園・華岳山公園の指定管理者として、多くの方に、安全に楽しく利用していただけるよう管理運営を行っています。

【平田体育館・平田グラウンド管理運営】

グラウンドゴルフ大会やひらた健康教室など、指定管理施設の有効活用を図り、地域住民の健康づくりやスポーツ活動に取り組んだ。



● 市辺地区まちづくり協議会

(愛 称) 万葉のまち いちのへ 市辺

(テーマ、スローガン) このまちで心豊かに住みつづけたい

【令和2年度】

設立日	平成 19 年 2 月 25 日	認定日 (当初)	平成 19 年 3 月 1 日
コミセン 指定管理開始日	平成 23 年 10 月 1 日	認定日 (条例による認定)	平成 27 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	〈所 在 地〉 東近江市市辺町 2391 市辺コミュニティセンター内 〈IP 電話/FAX〉 050-5802-3392 〈e-mail〉 ichi-kyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://itinobe.sakura.ne.jp/wp/		
代表者	会長 須田 あひる 智廣	会員数	100 名
会議・組織	役員会 7 名 (会長・副会長 3 名・事務局長・コミセン業務主任者・会計) 運営委員会 29 名 (役員・全自治会長・各種団体代表・各専門部会長) まちづくり委員 84 名 専門部 広報部 8 名、自然環境部 31 名、地域活力部 12 名、歴史・文化部 12 名 減災・安全・安心部 9 名、健康・福祉部 10 名、こども健全育成部 9 名		
予算等の概要	<一般会計> まちづくり総合交付金: 1,470 千円 / その他: 410 千円 <指定管理料> コミセン指定管理料: 12,085 千円 / その他: 757 千円		
情報紙の発行	まち協広報誌 「万葉のまち市辺」 (第 51 号・52 号・53 号・54 号) 年 4 回発行 <主な内容> 各部活動紹介・このまちの人・新型コロナ感染予防情報など コミセン広報誌 「市辺だより」 毎月発行 ※両誌共に音声テキスト版発行 <主な内容> 事業開催の案内・各種活動の紹介など LINE 開設 名称「市辺まち協&コミセン」 昨年の Facebook に引き続き開設		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などでPR できること	○指定管理 ・コロナウイルス感染予防の観点から、慎重な判断とコミセン利用の皆さんのご理解協力の下、各種事業も 8 割近く出来ました。(但し、募集は定員の 50%以内) ○組織運営 ・役員会、運営委員会の開催、専門部会等開催。年間の事業計画に基づき取り組んでいます。(各種会合は短時間実施の工夫をしておの取り組みとなりました) ○自治会連合会や各種団体との連携 ・地域福祉の一環として、コミセン・まち協(健康福祉部)及び同好会の協働で、グラウンドゴルフ大会「館長杯」を新規に取り組みました。 ・ご長寿ふれあいサロンをコミセン・まち協(健康福祉部)地区社協と共催で開催。 ○まちづくり専門部会の事業活動 ・歴史文化部 布施山城散策道の整備、御代参街道を歩く、歴史発見塾(保内商人) ・自然環境部 コバノササ普及推進、園児の芋掘り体験、ゴミ減量化セミナー開催など ・健康福祉部 シニアグラウンドゴルフ「館長杯」・ご長寿ふれあいサロンの共催など ・安全安心部 防災減災放送(毎月 1 日) 減災かるたの贈呈・防犯パトロール実施 ・地域活力部 ムラサキの栽培研究・ムラサキ苗木の頒布 ・こども健全育成部 文化祭で「手づくりしおり」の配布		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

「防災・減災のつどい」で事例発表（八日市文芸会館にて）



「手づくりしおり」の制作と地区文化祭にて配布



< 共催・協働事業 >

グラウンドゴルフ「館長杯」

「ご長寿ふれあいサロン」



ムラサキ苗木の頒布

船岡山に植栽（6月に開花）



市辺歴史発見塾

「御代参街道を歩く」



園児に芋ほり体験



ムラサキ

ゴーヤ苗の配布



< 協働事業 > 「減災かるた」市内小学校（22校）に 贈呈



● 玉緒地区まちづくり協議会

(愛 称) ハートフル玉緒

(テーマ、スローガン)『自然と共生し、みんなで創る輝く玉緒』

【令和2年度】



設立日	平成18年12月10日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン 指定管理開始日	平成24年 1月 1日	認定日 (条例による認定)	平成28年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市大森町1030番地 玉緒コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-22-6479 〈IP 番号〉 050-5801-6479 〈FAX〉 0748-22-6479		
代表者	会長 藤川 万嗣	会員数	まちづくり委員 58名
会議・組織	・まちづくり協議会 会長、副会長3名(1名は当該年度自治会連合会会長) 事務局長(コミセン館長兼務)・会計・会計監事 2名 ・ハートフル玉緒自主防犯隊(140名) ・運営委員会 役員・専門部代表者等(21名) ・専門部会 広報企画部、環境整備部、歴史文化部、安全安心部、 健康スポーツ部、福祉部、子ども健全育成部、地域活動部		
予算等の概要	<一般会計> まちづくり総合交付金:1,584千円/その他:1,476千円 <指定管理会計> コミセン指定管理料:12,121千円/その他:599千円		
情報紙の発行	・まちの情報誌「ハートフル玉緒」年3回発行 その他の月はコミセン「玉緒だより」を発行。 部数 1,500部 ・まちづくり協議会活動報告、文化・歴史・地域等の紹介		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	<まちづくり協議会活動> ① コミセンの指定管理に伴う、管理運営を行う。 ② 協議会が、自治連・各種団体と共に3大事業(夏祭り・運動会・文化祭) の企画～運営を行っている。(夏祭り・運動会は中止。文化祭は展示のみ) ③ 「ハートフル玉緒自主防犯隊」による地域パトロールの実施 自治連・各種団体が地域全体事業として、防犯・防災・安心の為に青パト カーによる巡回を実施 <部会活動> ① 環境整備部 里山整備、桜並木の整備、里山体験授業・里山保育の支援 ② 歴史文化部 遺跡・伝統文化の保存継承 ③ 広報企画部 地域の情報発信「ハートフル玉緒」発行、LINEでの情報発信		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介



① 大森城址の玉ちゃん人形&

案内看板の設置 9月27日(日)

まちづくり委員及び各種団体からの協力者総勢30名により、城址内の草刈及び新しい玉ちゃん人形と案内看板の設置作業を実施しました。

② 桜並木の整備 10月18日(日)

まちづくり委員十数人が、布引丘陵ウォーキングコースの桜の寄生木を除去し、かぶと虫寝床用チップに加工しました。



③ 玉緒小学校4年生の「里山体験授業」

11月18日(水) 里山広場において、薪割りや木を切る体験しながら、里山について学習する里山体験授業を支援しました。



④ カブト虫の配布 6月27日(土)

里山フェスティバルは中止となりましたが、まちづくり委員が孵化させ育てたカブト虫を子ども達に配布しました。



⑤ 玉緒幼稚園児の里山保育 1月20日(水)

玉緒幼稚園児が園舎から1.5km先の布引丘陵の麓まで歩き、更に標高230mの大森城址まで登る里山保育事業を支援しました。



⑥ 遺跡等の案内看板設置

地域内の遺跡等を紹介する案内看板を毎年設置しています。



⑦ 玉緒地区文化祭 11月4(水)~7日(土)

恒例の文化祭は、展示のみ。今年は、玉園中学校3年生の作品展示参加がありました。



● 御園地区まちづくり協議会

【令和 2 年度】

設立日	平成 18 年 10 月 21 日	認定日（当初）	平成 18 年 10 月 30 日
コミセン 指定管理開始日	平成 24 年 10 月 1 日	認定日 （条例による認定）	平成 27 年 4 月 1 日
事務所 連絡先	<所在地>東近江市 五智町 351-2 御園コミュニティセンター内 <電話番号・FAX> 0748-22-0503 <IP 電話> 050-8034-0503 <E-mail> misono-c@e-omi.ne.jp （御園コミュニティセンター内）		
代表者	小椋 善治	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 6 名（会長、副会長、事務局長 会計、会計幹事 2 名） 運営委員会 14 名（役員、自治会正副会長、企画委員） 企画委員会 9 名（会長、副会長、事務局長、企画委員） まちづくり会議（自治連役員、各種まちづくりの活動組織、市関係者など） 会議：総会 1 回、運営委員会 4 回、企画委員会 12 回、まちづくり会議 2 回 活動：防犯パトロール事業、子ども体験事業、学校支援事業、 健康寿命推進事業、ふれあい事業など		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金：2,005 千円／その他：65 千円 <指定管理会計>コミセン指定管理料：11,988 千円／その他：600 千円		
情報紙の発行	・【まち協みその】A4 版 4～8 ページ 毎月発行 発行部数 2,200 部／回 まち協、自治連、コミュニティセンター、各種団体の情報紙として発行 ・主な内容：まち協、自治連、各種地縁団体、ボランティアグループ、 コミュニティセンターなどの活動紹介や講座 PR、まちの話題など		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PR できること	組織運営：組織とまちづくりの運営方法を変更しました。 ・運営委員会を改編し、実務者を主にして役員、企画委員、自治連正副会長、関連団体長で構成します。 ・事業部を新設し、ボランティアを主とした活動を組織化。今までの各種団体を振分けた活動部会は廃止します。 ・御園まちづくり会議を新設し、自治会連合会、各種団体、市等で構成、御園の活動の全体調整や連携を促進します。 指定管理 まちづくり協議会と自治会連合会の事務局をコミュニティセンターが担う事でコミュニティセンターをまちづくりの拠点とした活動が来ています。 まちづくり計画を改定し、御園地区で大切にしたい事を次の 3 項目で取組むこととしました。 1) ゆっくりでよい、まちの事を考え、決めて、動きます。 2) やりたいこと、できることで活躍できるまちにします。 3) 健康、子ども、高齢者、防犯・防災、交流の 5 項目を基本テーマにし取組めます。 まちづくり協議会新しい取組 今年度からまちづくり協議会として ICT を使いこなし、多くの人が地域活動に参加しやすいまちづくり活動を始めました。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

令和2年度活動紹介

1、御園地区まちづくりの推進

地区内 19 団体とまちづくり
交流会を行いました



「御園地区 じんけん」
の冊子を作成しました



まちづくり冊子が
完成しました



3、自治連との連携

自治会連合会まちづくり
先進地研修を行いました



2、健康寿命を延ばす活動

「困りごとちょっと聞いて
ほしい事のよろず相談
会」を開催しました



「みんなで近くの名所
まで歩きましょう！」
を開催しました



4、子どもを支える活動の推進

御園小学6年生、玉園中学3年生の
作品展を開催しました



5、防犯まちづくり事業の推進

青パト安全祈願と、不
審者など撃退の集い
を開催しました



⇒「歩こう
ちいさん
ぐ」グル
ープが県知
事から表彰
を受けまし
た



6、野菜で仲間づくり

子どもたちと一緒に
さつまいも掘りを楽
しました



ヤーコンの収穫祭
を開催しました



7、子ども体験・交流事業 (かきみそのチャオグループ)

「かきみそのＣＩＡＯのクリスマス
２０２０」
オリジナル万華鏡を作りました



8、ICTの活用

企画運営部で SNS を使
って情報発信するための
講習会を行いました



「地域のための LINE 講座」
を開催しました



「スマホでこんな事ができる講座」
を開催しました



「ICT 活用 Zoom でオンライ
ン講座 第一回
(クレイクラフト講座)」で
クリスマスカップを作りました



⇒
ICT 活用
Zoom でオ
ンライン講
座 第二回
(男の料理
教室)」を開
催しました



● 建部地区まちづくり協議会

(スローガン)『支え合い、助け合う 住みよい建部』

【令和2年度】

設立日	平成18年 2月25日	認定日(当初)	平成18年 3月 2日
コミセン 指定管理開始日	平成23年10月 1日	認定日 (条例による認定)	平成28年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市建部日吉町31番地 建部コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-22-0303 〈IP番号〉 050-5801-0303 〈e-mail〉 tatebe-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	渡辺 康雄	会員数	個人会員57名、団体会員12団体
会議・組織	評議委員会 18名(自治会長) 運営委員会 17名(地域団体代表者、まち協役員) 役員会 15名(会長、副会長3名、事務局長、会計、部会長4名、 コミセン館長、地域担当職員4名) 専門部会 4部会(環境美化、歴史文化、健康福祉、広報) 会員の範囲(建部地区に居住する住民で構成) ・個人会員(本会の趣旨に賛同し、参加する個人)57名 ・団体会員(自治会連合会及び本会の趣旨に賛同する地域団体)12団体		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金:1,227千円/その他:919千円 <指定管理会計>コミセン指定管理料:12,098千円/その他:805千円		
情報紙の発行	地域の身近な情報誌として「建部だより」を毎月1回発行(年12回) A4版4~6頁(カラー) 発行部数 1,000部/回		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	1. まち協役員および推進体制 ① 役員会は15名で構成します。 ② 役員会の活性化 役員会を毎月第2火曜日に開催します。議論を活性化させ、効率良く行うため、会議資料を充実させています。会議での決定内容の確認とフォローのため、議事録を発行します。 2. 自治連、各地域団体との連携 ① 自治会連合会の会長がまち協の副会長に就任することで、自治連との連携を深めています。 ② 12の地域団体長とまち協役員が、まち協の運営に関し定期的に協議します。 ③ まち協の企画・運営および総会提出議案について意見を求めるため、自治会長で構成する評議委員会を必要に応じ開催します。 3. 今年度の定期総会は、コロナ感染拡大防止のため、書面決議としました。 4. 研修事業の推進 まち協会員および地域団体関係者を対象としたまちづくり研修を毎年実施していますが、今年度はコロナの影響で中止しました。 5. コミュニティセンターの指定管理の進捗状況 ① 指定管理の開始から10年目を迎え、地域住民の身近な施設として、また地域の皆さんに気軽に利用していただくため、開かれた施設運営を目指して取り組んでいます。 ② 調理室の改装工事、和室の畳の入れ替え等を行い、利便性を高めました。 ③ コミセンの従来の役割(「生涯学習の拠点」、「まちづくりの拠点」)に「地域福祉の拠点」を加えました。		

まちづくり活動等の取り組み紹介【令和2年度に実施した活動】

1. 環境美化事業への取り組み

- ① 植栽箇所およびポケットパークの草刈、コミセン前庭の剪定作業を年2回実施しました。(6月27日、10月3日)
- ② 生ゴミの減量化を図るため、ダンボールコンポストの普及に取り組んでいます。9月19日にダンボールコンポスト講習会を開催しました。
- ③ 愛知川左岸堤防のごみ拾いを12月6日に実施しました。



植栽箇所の草刈作業(年2回)

2. 歴史文化事業への取り組み

- ① 歴史講座を2月20日に開催しました。
郷土史家の丁野永正氏から江州音頭の歴史についてお話ししていただき、三代目真鍮家文好一門には江州音頭・座敷音頭を実演していただきました。
- ② 建部ウォーキングマップ作成への取り組み
建部全域を実測し、4つのコースを策定しました。
マップは4月に全戸配布します。



愛知川左岸堤防のごみ拾い

3. 健康福祉事業への取り組み

- ① 子ども見守り活動の一環として、毎月2回、3カ所でまち協会による交通立番を行いました。
- ② チャリティゴルフ大会を10月14日に開催し、チャリティ募金を地区社協に寄附しました。



歴史講座「江州音頭の歴史と実演」

4. 広報活動への取り組み

建部の良さとコミセンやまち協の活動を広く知ってもらうため、「建部だより」をコミセンと共同で毎月発行しています。

5. 建部の美しい自然や伝統文化を再認識するための展覧会を、ウェルネス八日市で開催しました。

(比較的に3密にならない事業として実施)

- ① 建部美し見つけ水彩画展(10月28日~11月3日)
- ② 建部祭り写真展(3月2日から3月20日)



ウォーキングマップ作成への取組

コロナ感染拡大防止のため、以下の事業を中止しました。

- ① 建部里まつり(6月7日)
- ② *たてばさマーフェスタ(7月18日)
- ③ *地区運動会(10月11日)
- ④ *町民祭(11月8日)
- ⑤ 歴史探訪(11月)
- ⑥ ロコモ健康教室(9月~12月)
*実行委員会形式で開催

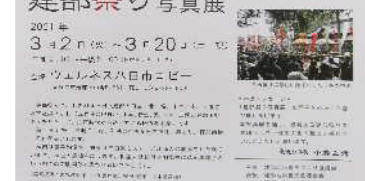


建部祭り写真展

次年度以降を見据えた取り組み

1. まちづくり活動の裾野を広げるための取り組み

「まちづくりのために何かをやりたい」と思っている個人やグループに対し、まちづくり協議会が人的および資金的支援を行う「まちづくり活動支援制度」を策定しました。
令和3年度より施行します。



建部祭り写真展

2. 各種団体の見直し

各種団体を活性化させるため、市および上位団体との関係性をヒト(役員・動員)・モノ(事業)・カネ(助成金・報告)の観点から調べました。仕組みの見直しや規約の改正等につなげていきます。

● 中野地区まちづくり協議会

(愛 称) **なかのよいまち**

(テーマ、スローガン) 『みんなでつくる なかの よいまち』

【令和 2 年度】

設立日	平成18年12月 9日	認定日(当初)	平成18年12月14日
コミセン 指定管理開始日	平成23年 4月 1日	認定日 (条例による認定)	平成28年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市 中野町 781 番地 5 中野コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-22-0154 〈IP 番号〉 050-5802-2311 〈e-mail〉 nakano-machikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	代表 小梶 猛		
会議・組織	役員 30 名(運営委員、監査) 運営委員 28 名(代表、副代表、事務局長、会計、幹事) まちづくり委員 38 名(自治会選出、公募委員、含む兼任) 総会構成人員 103 名(まちづくり委員、自治会長、各種団体長、市担当職員) ・まちあるきプロジェクト ・歴史探訪プロジェクト ・山と川保全推進プロジェクト ・50 年森整備 ・棕の木保全 ・広報委員会 ・婚活 ・もろてーな市		
予算等の概要	＜一般会計＞まちづくり総合交付金：1,724 千円／その他：1,076 千円 ＜指定管理会計＞コミセン指定管理料：12,345 千円／その他：609 千円		
情報紙の発行	まちの情報紙「中野地区まちづくり協議会 広報紙」 A4 版 4 ページ 6 月、9 月、1 月、3 月 年 4 回発行 発行部数 2,500 部／回 ＜主な内容＞地域に身近でホットなニュース、いま・むかしコーナー、 特産品の紹介、サークル紹介、まち協事業、まち協総会報告等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PR できること	自治会連合会や各種団体との連携を強め、中野地区の総合的なまちづくりを目指して、まちづくり協議会の発足準備段階から続けてきた、毎月7日開催の「円卓会議」で住民が中野地区のまちづくりを語り合う場を大切にしています。 テーマである「みんなでつくるなかのよいまち」実現に向け、地区社協とともに第2層協議体の運営や活動に力を注ぎ、地域福祉の推進や充実をはかり「もろてーな市」や「子ども食堂(なかのごはん)」事業を積極的に進めています。 中野地区の大きな事業であり、自治会連合会、各種団体が実行委員会で開催している「夏まつり」「文化祭」また「運動会」の代替事業としての「防災フェア」は、年度の早くに中止と決まったが、円卓会議での提案により、御代参街道を中心とした「なかのてくてく街角アート」の実施や西広場での「わ音コンサート」の開催と Web 配信など、コロナ禍での新しい試みとして実施できました。本会の大きな事業である「50 年森整備事業」は、森の見守り整備を続けることに留まらず、子ども達が安全に安心して遊べる場の提供をし、住民の憩いの場として定着しました。 コミュニティセンター西側の広場についても、自治会連合会や地区社協と共に整備を進め、市の協力も得て地域住民への開放ができ、住民の憩いの場や防災基地としての第2次整備案も計画中です。 「子ども食堂(なかのごはん)」も、感染対策をしっかりとする中で、毎月開催をはじめめています。「もろてーな市」は、市内外の団体に興味を持っていただき、他地域でも開催が進められその広がり期待しています。特に本年度は感染防止対策として、屋外で場所を広くしての開催を進めています。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介



コロナウィルス感染の広がりで、中野地区でも様々な催しが中止になって、外に出かける機会が減ってきました。中野地区まちづくり協議会では、10月28日から11月3日にかけて、屋外でソーシャルディスタンスを保ち、アートを楽しみながら企画しました。

11月3日 午後2時～わ音ライブ
於/中野コミュニティセンター西広場
新しく出発! コミュニティセンターで「わ音」の歌声を聞きながら
秋の収穫祭のイベントとなります。秋の収穫祭に集まっています。
雨天の場合、屋外でのコンサートは中止。屋内でのライブをWeb配信する予定です。振替の方法やその際の詳しい情報は下記のQRコードにて、まちづくりフェスブック又はブログでお確かめください。

同時開催
*10月28日～11月3日 (開店営業等)
なかのてくてくアート
なかのてくてくまちアート

QRコード

主催 中野地区まちづくり協議会
TEL 0485-22-3194



中野地区の恒例事業「布団回収」の屋外行事「わ音」コンサートと「もろて～な市」



コロナ禍で事業の中止が続く中、円卓会議で提案された街道散策型展示「てくてくアート」



御代参街道と協賛店舗では、子ども達の作品を中心に展示され賑わいをみせました。

● 八日市地区まちづくり協議会

【令和2年度】

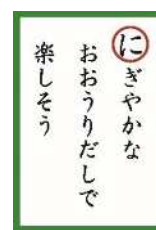
設立日	平成18年12月 2日	認定日（当初）	平成18年12月 5日
コミセン 指定管理開始日	平成24年 4月 1日	認定日 （条例による認定）	平成28年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市八日市町9番20号 八日市コミュニティセンター内 〈TEL・FAX〉 0748-23-4120 〈IP 電話〉 050-8034-1141 〈e-mail〉 8comi920@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 https://www.facebook.com/yokaichimachikyo/ 八日市冒険遊び場 http://www.yokaichiplaypark.shiga-saku.net 		
代表者	代表 高村 修	会員数	全住民が対象
会議・組織	執行役員会 年2回（代表、副代表2名、常任理事3名、事務局長、会計、コミセン館長、地域担当職員） 理事会 年2回（総自治会長6名、コミセン部会5名、プロジェクト部会10名、会員より3名、広報委員2名、地域担当職員） 広報委員会 年4回（編集委員長1名、委員11名） プロジェクト：延命夢クラブ、箕作山麓里・山づくり、八日市冒険遊び場、花いっぱい、いきいきあったかサロン、子育て支援、八日市つながり、清水川湧遊、防災、歴史文化		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金：1,464千円／その他：537千円 <指定管理会計>コミセン指定管理料：14,064千円／その他：1,726千円		
情報紙の発行	八日市まち協だより A4版4ページ 年4回発行 発行部数2400部／回 主な内容：まち協の活動報告、わがまち探訪、きらり～この人～、八日市ピンポイント、各プロジェクトの活動報告		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などでPRできること	歴史文化プロジェクトで制作した「八日市ふるさと絵屏風」の活用が3年目の課題で、今年度は八日市ふるさと絵屏風カルタを作ることになりました。読札の文面を一般募集したほか、昨年度絵屏風を教材に地域学習を行っていただいた箕作小学校に子ども版カルタの制作を打診したところ、担当教諭の賛同を得て制作することになりました。4年生3クラスの子どもたちが、読札の文案を考えてくれてカルタが完成し、2月8日にジャンボカルタ大会を行いました。また、御園小学校でも3年生に絵屏風の出前授業を行いました。 存続が決定した近江鉄道を、地域の交通機関としてまちづくりにどう生かすかが今後の課題です。その第一歩として「近江鉄道を活かしたまちづくり懇談会」（通称：鉄まちKON）を開催、40名近くの参加者でアイデアを出し合いました。次年度には第2回目を開催、近江鉄道を利用したツアーなども企画する予定です。 介護保険でカバーできない生活支援サービスを提供する生活支援体制整備事業を、「まちつなぎ八日市」と題してまち協で受託しました。ちょっとした生活の困りごとをサポートする「あなたの応援隊ようかいち」、脳活教室やスクエアステップ教室などで介護予防を図ります。		

指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介



箕作小版「八日市ふるさと絵屏風」を
贈呈、そのあとカルタ大会をしました。

ジャンボカルタの絵札はA3の大きさ
読札ははがきの大きさです。



2月8日に、御園小学校3年生の地域学習に
出前授業を行いました。

昔の生活の様子を見て、児童からの質問が
たくさんありました。

近江鉄道は、八日市地区には欠かせないもの。
どうすれば町の活性化につながるかを考えま
した。



鉄まちKON

近江鉄道を活かしたまちづくり懇談会



どうしたら街に賑わいが戻るかなあ
街が元気になると、みんなも元気になるんやけど



どうしたら近江鉄道に乗ってもらえるかなあ
もっと便数を増やしたら乗ってもらえるかなあ

みんなで考えよう!! まちのこと、近江鉄道のこと

とき 12月9日(水) 19:30~21:30

ところ 八日市コミュニティセンター ホール

講師 (株)いろうあわせ 北川雄士氏

しめしめ 八日市地区まちづくり協議会

お問い合わせ

八日市地区まちづくり協議会

TEL: 23-4120 IP: 050-8034-1141

● 南部地区まちづくり協議会

(愛 称) ときめく南部(まち)

(テーマ、スローガン) 『誰もが笑顔で暮らし、活力あふれるまち』

【令和2年度】

設立日	平成17年 9月19日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン 指定管理開始日	平成23年 4月 1日	認定日 (条例による認定)	平成28年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市沖野2丁目1番34号 南部コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉0748-23-1573 〈IP番号〉050-8034-1573 〈e-mail〉 nanbumachikyo@e-omi.ne.jp		
代表者	会長 森 基一	会員数	75名
会議・組織	役員会6名(会長、副会長3名、事務局長、会計)(内副会長1名は自治連会長) 運営委員会17名(役員、専門部会長(兼務有)コミセン館長、地域担当職員) 評議委員会30名(役員、地区内自治会長14名、各種団体長10名) 拡大運営委員会 運営委員全員 会員の範囲 趣旨に賛同する個人、各自治会からの推薦者、各自治会(団体会員)		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金:1,645千円/その他:842千円 <指定管理会計>コミセン指定管理料:12,280千円/その他:1,230千円 <特別会計>ダンボールコンポスト普及啓発事業:2,182千円(委託料等)		
情報紙の発行	1. まち協会員向けA4両面版「ホットニュース」毎月25日発行 事業日程並びに参加案内及びイベント案内 2. 南部地区内総合広報紙「南部だより」毎月発行にトピックス及び 実施事業案内を掲載		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	1. 地区内イベント(南部まつり、運動会等)協力と参画 (中止) 2. 可燃ごみ減量化と循環型社会づくりを目指す各種コンポスト事業の強化継続 再資源可能物コーナーの管理運営 3. 休耕田を活用し野菜栽培を通じて、地域の児童等とのふれあいを深める 4. 八日市南小学校長期休業期間における学習支援活動への協力(年4回) 2回(夏季休業中のみ実施、その他は中止) 5. 八日市南小学校子ども森、校庭芝生の維持管理 6. 安全・安心のまちづくり推進に伴う各種事業の実施等 ・毎月2回(交通安全日)通学路交差点における交通安全立ち番と 子ども達への挨拶運動の継続実施 ・地域美化活動として毎月一回道路沿いのゴミ清掃 ・命のバトンの配布事業 ・地域住民福祉活動計画の一環として「ほっとまちカフェ」の運営 毎月7日に開催 ・「南部みんなの秋まつり」 (中止) 次年度、継続して実施予定。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1. コミュニティセンターの運営管理

- ・毎週土曜日午前中開館（職員の輪番制）
- ・休日貸館の管理
- ・コミュニティセンター内外環境の整備、維持管理

2. 地域住民へのPR活動を強化し意見調整の場を設け、充実した活動の展開

- ・先進地の視察、交流による研修を予定したが中止した。
- ・「避難訓練コンサート」への参加と奨励

3. 南部地区の防災・減災

- ・自治会、地区社協、自主防災組織等との連携
- ・自主防災組織未設立自治会への働きかけ

4. 少子高齢化時代に役立つ地域風土作り

- ・老若男女が集える場づくりで、ほっとまちカフェを継続
- ・地域特性を踏まえた住民参加による支え合いづくりの推進
- ・粋生サロンで和服リフォーム、小物づくりを通じて、生きがいづくり
- ・命のバトン配布事業での推進

5. 住民の環境意識を高め、ごみ全体の減量化から、収集経費及び処理費用軽減の節約

- ・各種コンポスト事業の普及啓発活動の推進
- ・「生ごみ堆肥講座・菜園講座」の開催を通じて、堆肥の活用方法を啓発
- ・資源ごみの分別収集を推進し、再資源化を協力に進める

6. 男女・年齢を問わず皆が集い、学び趣味を生かせる場作り

- ・愛犬家による地域パトロール
- ・休耕田を活用した野菜の収穫体験学習や子ども森で焼き芋体験
- ・3R（リフォーム・リユース・リサイクル）を積極的に推進
- ・学習支援活動（べんきょう会）で学習の習慣づけ
- ・あびこ（挨拶・美化・交通安全）活動の継続展開
- ・支援活動（八日市南小学校芝生の維持管理・大花火大会への支援活動）

7. 地域の成り立ち学習

- ・「心象沖野開拓絵図」を活用して、南部地区の歴史と成り立ちを伝承
八日市南小学校4年生の総合学習での実施を予定したが中止となった。

8. ユニットハウスの設置

- ・まちづくり協議会の事務所が手狭で協議や資料の保管、作業がしにくい。また、コミセンは、貸館等が多く必要に応じた活用が難しい面がある。そのため、活動推進と事務所機能の充実のためユニットハウスを設置した。

《地域美化活動》

《子ども森焼き芋体験》



● 永源寺地区まちづくり協議会

(愛 称) We Are The One “みんなでひとつ”

(テーマ、スローガン) 『 里いっぱい 新 呼吸 笑顔のまち えいげんじ 』

【令和2年度】

設 立 日	平成17年 9月30日	認定日(当初)	平成17年10月17日
コミセン 指定管理開始日	平成26年 4月 1日	認定日 (条例による認定)	平成27年 4月 1日
事 務 所 連 絡 先	〈所在地〉東近江市山上町 1316 番地 永源寺コミュニティセンター内 〈IP 番号〉0505-802-9336 〈FAX〉0748-27-1974 〈e-mail〉e-net6500@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉http://members.e-omi.ne.jp/e-net6500/		
代 表 者	会長 山田 重三	会 員 数	55名
会 議・組 織	役員会(会長、副会長、監事)5名 随時開催 運営委員会(役員、部会長、会長が指名した者) 概ね3ヶ月に1回開催 専門部会 6部会 随時開催		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金:3,025千円/その他:4,025千円 <指定管理会計>コミセン指定管理料28,146千円/その他:1,530千円		
情報紙の発行	e- NET6500 年6回発行 A4/最大12頁 カラー(現在:No.95) (まちの話題、まちきょうだより、クローズアップ 他) e- NET6500情報版 毎月発行 A4/4頁 白黒(現在:No.190) (イベント等告知、くらしのカレンダー、学校・園だより、コミセンだより他) ホームページ 随時更新		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	「自らの地域は自ら考え自ら行動していく」を基本に、地区の伝統文化を再発見し継承していくと共に、次代を担う人材を地域の子育て団体と協力し、地域活力を生み出す、そんなまちづくりをめざしています。 しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止せざるを得ない事業もありました。感染症の対策をした中で、少しでも取り組みました。 ○地域の良さを再認識し、継承していく取り組み ・きらり！えいげんじ再発見事業 ・地域案内として自治会名看板の設置 ・大本山永源寺ライトアップ ○環境にやさしいまちづくりへの取り組み ・ゴミの分別意識の高揚(エコキャップ、プルトップ、割り箸の回収) ・大型金属資源回収 ○情報誌などを通じ、地域連携を深め地域福祉の推進を図る ・みんなのふるさと祭り(文化祭) ・まちづくりフォーラム ※ 地域固有の資源を活用して活動を行なうことにより、地域の良さを住民みんなで共有し、地域に対する誇りと愛着心の醸成に繋げていこう。 より多くの住民の皆さんが参画しやすい組織にするため、事業やイベントを企画・運営することについて、各自治会や地区内各種団体等と連携を密にし、互いに協力し合い活動しています。		

指定管理・組織運営・他団体との連携・まちづくり活動等の取り組み紹介

- ・平成26年4月1日より永源寺コミュニティセンターを指定管理しており、コミセン事業と連携したまちづくりに取り組んでいます。

【みんなのふるさと祭り（文化祭）、まちづくりフォーラム等の開催】

- ・地区自治会連合会と連携し、行政への要望を直接出来る「まちづくり懇談会」の実施や自治会単位では困難である大型金属資源回収やリサイクル活動としてペットボトルのキャップと空き缶のプルトップ、使用済み割り箸の回収を実施しています。
- ・文化の薫る個性あるまちづくりを進めていますが、さらに磨きをかけ永源寺の魅力を高めるため関連するイベントの開催、登山コースの整備などを実施しています。

【大本山永源寺ライトアップ、きらり！永源寺 再発見等の実施】

- ・情報誌の充実により、まちづくり協議会の取り組みや各種団体・各自治会の活動を紹介するなど、全戸配布により住民の皆さんに参加および啓発を呼び掛けています。

◎ 画像での活動紹介（一部）

リサイクル活動



大型資源回収



みんなのふるさと祭り



まちづくりフォーラム



情報紙の発行



永源寺ライトアップ（ともしびミニライブの開催）



● 五個荘地区まちづくり協議会

(愛 称) GO!まち協

(テーマ、スローガン) 心イキイキはつらつと みんなが愉しむまちづくり

【令和2年度】

設立日	平成18年 3月18日	認定日	平成18年 3月23日
指定管理 開始日	平成25年 4月 1日	認定日 (条例による認定)	平成27年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市五個荘小幡町318 五個荘コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0748-48-7303 〈IP 番号〉 0505-801-7303 〈FAX〉 0748-48-6454 〈e-mail〉 go-machikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉  〈フェイスブック〉 		
代表者	小 杉 勇	会員数	地区住民全員
会議・組織	役員会 6名(会長、副会長、事務局長、館長) 運営委員会 25名(役員、相談役、各事業部正副部長、有識者) 事業部会 安心・安全部会10名、環境部会9名 歴史・文化部会16名、地域福祉部会19名、情報誌部会7名 自治会推薦まち協推進員48名 地域担当職員7名、地域イベント協力隊87名 構成員 五個荘地区に在住、在勤する全ての人と地域の活動団体		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金:2,923千円/その他:3,477千円 <指定管理会計>コミセン指定管理料 2,700千円/その他:1,994千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌「GO!まち協」 A4版8ページ 偶数月 6回発行 発行部数 4,000部/回 〈主な内容〉特集、まちの話題、ひと・まち・団体の紹介、行事予定 他		
指定管理や組 織運営、自治連 や各種団体と の連携、まちづ くり活動など で特にPRで きること	【重点施策】 少子高齢化と人口減少が進行するなかにあって、住み良い・住み続けたい地域環境を整えながら、将来にわたって活力ある地区を維持していくため「五個荘地区第二次まちづくり計画書」に基づき、自治会や各種団体と連携し以下の課題に取り組んでまいります。 歴史・伝統・文化・観光のまちづくり 健康・子育て・福祉のまちづくり 人・地域とのつながり・人権・教育のまちづくり 安心・安全・環境第一のまちづくり 【協働事業】 - 中山道五個荘にぎわい事業委員会 中山道歴史散策マップ・歴史案内看板 制作 - 東近江トレイル実行委員会 里山保全活動を推進する3団体、健康推進団体と協働し、貴重な歴史遺産と豊かな自然の里山保全、エコツーリズム事業の充実  ぼく「てんびん坊や」です。 五個荘の パブリックキャラクター として活躍中です。		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

【安心・安全事業部会】

◆「防災・減災と福祉のつどい」



←「地域で備える防災と地域福祉」
（ローカリズム・ラボ：井岡仁志氏）
「活動事例発表」（五個荘河曲町自主防災会）
ワークショップ「自治会での防災と福祉 現状と課題」



↑「緊急避難時持ち出し30点セット」軒旋
コロナ禍での各家庭の防災グッズ見直しを促進

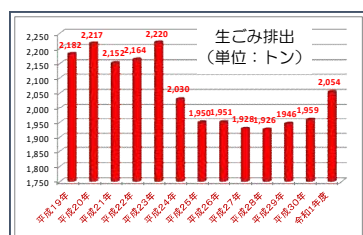
◆「防災研修会」



↑「被災現場からの報告」
（中村準一氏：
滋賀県防災支援赤十字奉仕団）

【環境事業部】

◆生ごみ減量化「ダンボールコンポスト推進」



↑ H23 年に生ごみ減量化活動に取り組み始めてから、
可燃ごみは8年間で★排出量 2,016 トン
★処理費用 66,535 万円減らすことが出来ました。(23 年度比)

◆大型金属資源回収（年3回実施）



↑ 延べ116人のボランティアが
年間約16トンの金属資源を
回収しています。

【地域福祉事業部】

◆五個荘地区住民福祉会議



←「だれもが人財
みんなで支えあ
まち五個荘」を合
言葉に活動してい
ます。

まちの話題など →
地域の情報満載
地域の特産品が当たる
「五個荘クイズ」も
人気です。

【情報誌事業部】

◆「GO! まち協」発行



【東近江トレイル実行委員会】（協働事業）

↓「東近江トレイルシンポジウム」
東近江トレイル低山の魅力紹介
（mont-bell：石原真氏）
里山活動発表（実行委員：池田正男氏）



トレイルコース地図製作→



↑ 生活情報誌「オウティ」に
東近江トレイルコースが
特集で取り上げられました。



スマイルネット
収録応援
織山と箕作山の
魅力を発信
YouTube 配信中



【五個荘中山道にぎわい事業委員会】（協働事業）



←「中山道五個荘マップ」制作
中山道沿線3か所に設置

「中山道案内看板」制作→
中山道沿線13か所に設置



● 愛東地区まちづくり協議会

(愛 称) 愛の田園(まち) ネット

(テーマ、スローガン)「みんなで楽しく、誰もが好きと言えるまちに！」

【令和2年度】

設立日	平成17年 5月21日	認定日(当初)	平成17年 7月21日
コミセン 指定管理開始日	平成24年10月 1日	認定日 (条例による認定)	平成27年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉東近江市下中野町 431 番地 愛東コミュニティセンター内 〈電話番号〉0749-46-2270 〈IP 番号〉050-5802-8614 〈FAX〉0749-46-2270 〈e-mail〉machinet@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉http://membere.e-omine.jp/machinet		
代表者	会長 藤関 明雄	会員数	88名(正会員:個人55、家族4、自治会22/賛助会員7)
会議・組織	・役員 9名 (会長、副会長、監事、事務局長、事務局次長、館長、顧問) ・運営委員会 24名 (役員、専門部会長、地域担当職員、支所職員等) ・評議委員 22名(自治会長) ・まちづくり委員 22名(各自治会1名) 【専門部会】 広報部、防災自治まちづくり部会、地域ふれあい活動部会、花づくり部会、福祉プロジェクト部会、イベントサポートプロジェクト部会、若者のまちづくりプロジェクト部会、愛のまち交流プロジェクト部会、獣害対策プロジェクト部会、愛東住みたいプロジェクト部会、愛東呼びたいプロジェクト部会		
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金:2,651 千円 /会費:686 千円/その他:1,338 千円 <指定管理料>コミセン指定管理料:26,331 千円/その他:2,777 千円		
情報紙の発行	・元気なまちづくり情報誌「愛の田園(まち)だより」 ・A4版 8ページ 毎月発行 発行部数 1,400 部/月 〈主な内容〉特集、地域の話題、イベント案内、コミュニティセンターの情報等		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	・次の3つを重点に活動を行いました。 1 愛東の「ひと・もの・こと」の良さや強みを活かすこと 2 住みたくなる・住み続けたいまちにすること 3 子どもたちに「ふるさと」意識を高めること ・新たな取組みとして「若者のまちミーティング」を開催しました。 施設同士の連携・移住者と農業者の連携・子育て世代		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

(1) まちづくり三者合同会議

自治連とまち協と支所とが連携を図るために意見交換等を行っている。

(2) 愛の田園づくり会議

地区課題の掘起し、解決に向けた取り組みを自治連、市議会（現・前・元）まち協OB、有識者で構成している。

(3) まちづくりの三本柱のコミセンの活動 次の3つの柱で活動している。

- ①「あいとうの個性をつくる」 愛東のよさ（自然・歴史）を再発見
- ②「生きがいを楽しめる」 ライフステージに応じた学ぶ楽しさ
- ③「コミュニティをつくる」 お互いにつながり合うよろこび

(4) 愛の田園新春のつどい

自治会長、団体長等が一同に会して、令和2年の始まりを機して、新春のつどいを開催した。

(5) 部会活動

【広報部】

- ・元気なまちづくり情報誌「愛の田園だより」毎月発行

【防災自治まちづくり部会】

- ・防災出前講座の開催

【地域ふれあい活動部会】

- ・あいとう夏まつりとあいとう秋まつりの開催
- ・出前サンタの実施
- ・イルミネーションの実施

【花づくり部会】

- ・美しい花のある風景のある町づくり
花街道整備及び町内プランター設置
- ・地区玄関口等への「水やり省力プランター」の設置

【福祉プロジェクト部会】

- ・8月10日「バトンの日」啓発活動
- ・命のバトン啓発ポスター及び標語募集
- ・ちょこバスの啓発

【イベントサポートプロジェクト部会】

- ・バザー実施による地区内イベントの盛り上げ支援

【若者のまちづくりプロジェクト部会】

- ・滋賀国際映画祭2020の開催

【愛のまち交流プロジェクト部会】

- ・愛のメッセージの実施

【災害対策プロジェクト部会】

- ・集落ぐるみの追い払い活動への支援
- ・追い払い研修会の実施

【愛東住みたいプロジェクト部会】

- ・既存移住者と地元との交流会の開催

【愛東呼びたいプロジェクト部会】

- ・愛東に来てもらうための活動
- ・百済寺PR 動画作成
- ・スマホ写真講座



● 湖東地区まちづくり協議会

(愛 称) 好きやねん湖東

(テーマ、スローガン) いきいき ほのぼの わくわく あったか湖東時間



【令和2年度】

設立日	平成17年 7月14日	認定日(当初)	平成17年 9月20日
コミセン 指定管理開始日	平成24年 4月 1日	認定日 (条例による認定)	平成28年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市池庄町495番地 湖東コミュニティセンター内 〈電話番号〉 0749-45-0950 〈IP 番号〉 050-5801-0950 〈FAX〉 0749-45-2049 〈e-mail〉 suki-koto@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://www.sukisuki-koto.jp/		
代表者	会長 小島 善雄	会員数	地区内市民が対象
会議・組織	総会、理事会、運営委員会、まちづくり推進員会議 部会 福祉部会、広報部会、防災コミュニティ部会、みどり環境部会、 湖東企画部会 プロジェクト 湖東歴史文化PJ、子育て支援PJ、子どもいきいきPJ、 福結びPJ、音楽を聴こうPJ、横溝納豆復活PJ		
予算等の概要	<一般会計> まちづくり総合交付金：3,899千円／その他：644千円 <指定管理会計> コミセン指定管理料：28,344千円／その他：5,154千円		
情報紙の発行	まちづくり情報誌「好きやねん湖東」 毎月1回発行 A4版4面 発行部数2,700部／月 コミュニティセンターと共同編集 〈主な内容〉表紙には地域のトピック写真とコメント、まち協や各種団体・地域おこし協力隊の活動紹介や行事予定、暮らしの情報、コミセン関係記事など		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	◎ 各種団体との連携 各自治会から1名ずつ選出されたまちづくり推進員と防災推進員に、防災を含めたまちづくり活動に協力いただいています。また、自治連はじめ各種団体からの代表にも、理事に加わっていただいています。 コトナリエやふるさとまつりなどイベントの実行委員会の他、あいさつ運動・青パト巡回・命のバトン啓発や各種プロジェクトにおいても、各種団体と連携しながら進めています。 ◎ ふだんの暮らしに幸せが感じられるまちづくり コロナ禍に平穏な日常を奪われた年になりましたが、こういう時こそ人と人とのつながりが大切。 憩いと交流の場づくり、コロナ禍での居場所づくり、困りごとの相談場所などを兼ねた「いこいこ広場」の活動をスタートさせました。 ←「いこいこ広場」の様子 		

コロナには負けへんで！ 他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み



安全を見守る青パト(New)



新入生通学路点検



診療所清掃作業(New)



FM 東近江でまち協ラジオ番組放送！(New)



歴史と文化をたどる まちあるき



子ども手持ち花火大会(New)



コトナリエ ウインターアヴェニュー(New)



サプライズ花火(New)
と広報紙

他にも、文化講演会・子育て講座・レコードコンサートの開催、地域の歴史資料の編纂、おたすけ隊による生活支援、婚活事業、防災活動などを、さまざまな団体と協働で行いました。

また、他の地区や市町へ視察研修を行い、研鑽を積むとともに交流を深めました。



ふるさと文化展



走らせよう！通学バス(New)



神山町視察研修(New)



伝説の納豆復活！(New)

● 一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

(愛 称) ホップ♪ステップ♪のとがわ

(テーマ、スローガン) 『住みよい 住みたい 住み続けたい 水車のまち 能登川』

【令和2年度】

設立日	平成19年 3月10日	認定日(当初)	平成19年 3月13日
コミセン 指定管理開始日	平成24年 4月 1日	認定日 (条例による認定)	平成27年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市舩光寺町262番地 〈IP 電話番号〉 050-5802-2793 〈FAX〉 0748-42-1556 〈e-mail〉 notomatikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://notomatikyo.com/		
代表者	代表理事(会長) 藤居正博	会員数	261名
会議・組織			
予算等の概要	<一般会計>まちづくり総合交付金: 5,421 千円/その他: 906 千円 <指定管理会計>コミセン指定管理料: 43,095 千円 /ホール指定管理料: 10,335 千円/公園指定管理料: 9,868 千円/その他: 890 千円		
情報紙の発行	■まちの情報紙「ホップ♪ステップ♪のとがわ」8,700部/回(全戸配布) A4版 8ページ(カラー4、白黒4) 偶数月 年6回発行 ■会 員 情 報 紙「のとまち協 NEWS」毎月1日発行(280部)		
指定管理や組織 運営、自治連や 各種団体との連 携、まちづくり 活動などで特に PRできること	○ 在能登川小中高校と多彩で多方面な連携(その一部記載) ・JR 能登川駅前を花で飾る「フラ輪プロジェクト」活動支援(小・中) ・ふるさと学習の講師として猪子山探訪、故郷の良さや歴史を教える。(小) ・「スクールスティ(防災学習)」体験に参画し生徒の防災意識を昂揚(小) ・校訓「啐啄同時」を地域に周知し、地元との絆を深める高校支援。(高) ・「びわ湖ホール声楽アンサンブル演奏会」を主催し、本物の音楽を提供(小) ○ 「能登川病院をよくする会」活動に参画。住民の為に地域医療発展を支援。 ○ 「東近江市観光ボランティアガイド協会能登川支部」活動を支援。 ○ 「猪子山・地獄越え周辺の山道を良くする会」の整備活動を支援。 ○ 8月 「県の愛知川洪水マップ更新に伴う説明会」開催。「自治会ヒアリング」や「防災チェックシート」等、通年、地区の防災活動に積極的に取り組む。 ○ 自治会別の懇談(「まちカフェ」)機会を誘う。課題に共に悩み考え解決へ。 ○ 10月 「まちづくり懇話会」で市と協議。主に「防災について」意見交換。 ○ 6・10月 「栗見プロジェクト」(琵琶湖岸復活大作戦)で甦る琵琶湖岸実現。 ○ 12月 能登川地区文化協会文化公演会「一期一会」コンサートに協賛はじめ、スポーツ協会等各種市民活動団体の事務局業務や活動に支援や参画。 ○ 3月 「元気のつどい」はじめ、健康長寿を目指した健康推進諸活動。婚活も。		

広報事業部
情報紙発行



能登川東小学校 6 年生「スクールスティ」体験（防災学習）

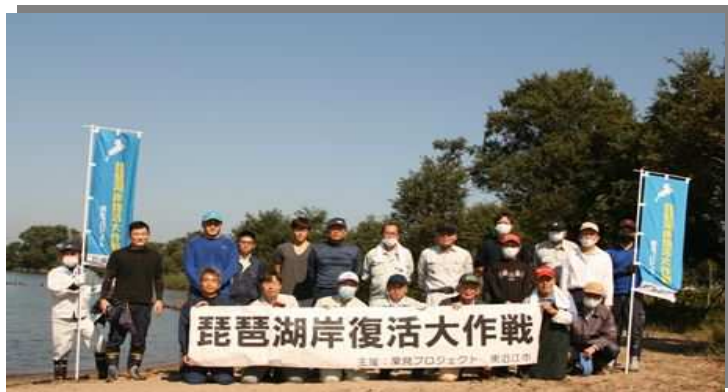
安全・安心事業部

10/8（金）～9（土）
仲間づくりと絆づくりに「防災教育」を実施。
防災への意識向上のための避難所設営等、自主性を育む中、お手伝いを行った。



栗見プロジェクト

湖岸景観の美化・自然環境の保全を住民参加で行う
2 年目の活動。次年度も継続予定。



環境事業部

11/5（木）能登川中学校美化活動
「フラ輪プロジェクト」支援。
JR 能登川駅前を花で飾ります。フラワーポットは現在 37 基。11/16（月）
能登川南小学校も参画。駅東口を担当。



第 17 回 2020

Lighting Bell in NOTOGAWA

林中央公園を飾る 15 万個の
イルミネーションはコロナ禍中の
今年は中止。支援頂く地元、
イルミの貸出しで日頃のお礼。



歴史・文化事業部

猪子山を活動拠点とし、古墳
群・里山整備等、能登川南小学校
や八日市南高校と連携。



ふるさと散歩道事業部

舞台は猪子山。神話の創作とパ
ワースポットの発掘。冊子にして
地区の学校・駅等頒布。今年は、
JR ハイキング時等の資料として
観光ガイドが配布紹介。



施設運営事業部

11/17（火）コミュニティセン
ターホールで「びわ湖ホール声楽
アンサンブル演奏会」を主催し、
能登川地区 4 小学校 6 年生を招
待、本物との出会いを体感。指定
管理施設の有効利用と地域住民の
健康と生き甲斐づくりに努める。



多数のコミセン事業の一つ

12/12（土）音楽法話バンド
「一期一会」コンサート

（主催：能登川地区文化協会
事務局 コミセン）癒しの叙情歌
に涙する人も…



健康福祉事業部

地域医療の要、市立能登川病院
を住民の力で支える「能登川病院
をよくする会」活動の支援と参画。



● 蒲生地区まちづくり協議会

(テーマ、スローガン) 『このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまちづくり』

【令和2年度】

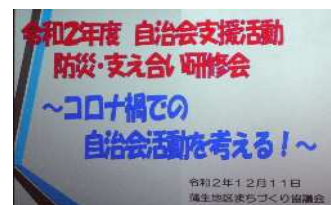
設立日	平成18年11月18日	認定日(当初)	平成18年11月22日
コミセン指定管理開始日	平成25年 4月 1日	認定日(条例による認定)	平成30年 4月 1日
事務所 連絡先	〈所在地〉 東近江市市子川原町461-1 蒲生コミュニティセンター内 〈電話番号・FAX〉 0748-55-3030 〈IP番号〉 050-8035-8437 〈e-mail〉 gamomachikyo@e-omi.ne.jp 〈ホームページ〉 http://www.gamoyume.org/		
代表者	会長 佐川 昭子	会員数	(R3.1.1 現在) 14,474 名
会議・組織	総会 111名 (自治会代表、自治会まちづくり委員、地域活動団体代表) 役員会 5名 (会長、副会長、事務局長、会計、(監事除く)) 企画会議 14名 (役員、委員会委員長、専門部会部長) 運営委員会 34名 (企画会議メンバー、運営委員、自治連三役) (特別委員会) ・まちづくり計画推進委員会 14名 ・広報企画委員会 6名 ・ふるさと蒲生野川づくり委員会 7名 (専門部会) ・ひだまり部会 8名 ・ふれあい交流部会 14名 ・エコランド部会 3名(他にモニター30名) ・あかね部会 9名 ・万葉ロマンの里づくり委員会 8名・地域活性化部会 10名 自治会まちづくり委員会 42名(各自治会1名選出) 蒲生まちづくり会議(自治連役員、市関係者、県・市議会議員、医療センター、農協、コミセン、各種団体、まち協 他)		
予算等の概要	<一般会計> まちづくり総合交付金: 4,651 千円/その他: 4,649 千円 <指定管理会計> コミセン指定管理料: 35,602 千円/その他: 3,658 千円		
情報紙の発行	1 蒲生まち協の広報紙「がまチョコ」 A4版4ページ 毎月20日5,200部発行 2 FMひがしおうみ(RadioSweet)81.5MHzにて、毎月第2土曜日 午前11:00～ 蒲生まち協番組「Happy Gamo」(30分)放送 <主な内容>まち協の情報、自治会のまちづくり紹介、各種団体の活動紹介 等		
指定管理や組織運営、自治連や各種団体との連携、まちづくり活動などで特にPRできること	年間の事業は、まちづくり計画を軸に、自治会連合会とまち協が両輪となり関係団体、企業等と連携しながら活動を展開している。その上で、 1. 自治連との連携強化の一環 「自治会支援活動 防災・支え合い研修会」～コロナ禍での自治会活動を考える！～の実施 2. 蒲生まちづくり会議の開催 コロナ禍の中、蒲生地区の課題解決を図るため県議・市議・JA・商工会・支所・各種団体と情報共有、意見交換会を開催 3. 2030年蒲生の将来を目指し改定した「まちづくり計画書」の具現化を図るため、「(一社)がもう夢工房」と連携した取り組みをおこなっている(食の六次産業化、着地型観光、援農隊) 4. 「ガリ版伝承によるまちづくりの会」の開催 「ガリ版伝承によるまちづくり全体構想」を具体的に進めていく		

指定管理・組織運営・他団体との協働・まちづくり活動等の取り組み紹介

1 蒲生コミュニティセンターの管理運営を受託

2 本部事業

- ・「自治会支援活動 防災・支え合い研修会」～コロナ禍での自治会活動を考える！～の実施
- ・「蒲生まちづくり会議」の開催
- ・「ガリ版伝承によるまちづくりの会」の開催
- ・蒲生医療センターへの協力、支援「がん診療棟起工式」に来賓出席
- ・大型金属性資源回収事業の実施
- ・「あかね防災キャンプ 2020」（蒲生地区 3 小学校で実施）
- ・「コロナに負けるな！花火で元気を・・・」を実施
- ・「コロナに負けるな！あかねスタンプラリー」に参画
- ・「ガリ版文化伝承シンポジウム」実行委員会に参画
- ・蒲生西小学校「蒲生の未来を提案しよう！」に参加
- ・「櫻川開設 120 周年記念事業プロジェクト」に協賛
- ・地域おこし協力隊への支援 ・地域担当職員、地域応援隊との連携
- ・人材バンクシステムの構築 ・視察の受け入れ（2 団体 41 名）
- ・「（一社）がもう夢工房」に参画



【自治会支援活動】



【あかね防災キャンプ 2020】



【コロナに負けるな！花火で元気を・・・】

3 委員会活動

※あかね夏祭り、いきいきあかねフェア、お月見コンサート、新年互礼会、まちづくりフォーラムは新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- (1) まちづくり計画推進委員会
 - ・まちづくり計画進捗管理
 - ・蒲生地区のまちづくりに関するアンケート調査の実施(無作為抽出の 15～80 歳の 3000 名)
- (2) 広報企画委員会
 - ・広報紙「がまチョコ」毎月発行
 - ・FM ひがしおうみ蒲生まち協放送番組 “HappyGamo”
毎月第 2 土曜日 11 時から 30 分間放送・幅広く情報発信及び情報収集
- (3) ふるさと蒲生野川づくり委員会
 - ・川づくり啓発活動の取り組み（のぼり、ポスター、チラシ等）
 - ・日野川および佐久良川の現状調査の実施
 - ・日野川および佐久良川モデル地区の「除草作業とゴミ拾い」作業の実施
 - ・ふるさと美化「蒲生野の日」（第 3 土曜日）を定め、美化活動参加と意識向上の啓発



【蒲生野川づくり】

4 部会活動

- (1) ひだまり部会
 - ・「あかね防災キャンプ 2020」実行委員会に参画
 - ・安心、安全のまちづくり事業 ・命のバトン事業
- (2) ふれあい交流部会
 - ・まち協音頭、健康体操の啓発
 - ・縁側カフェ開催時に健康相談等の窓口開催
 - ・「健康講座」、「親子の栄養講座」の開催
 - ・検診啓発・拠り所創造事業へ参画
- (3) エコランド部会
 - ・健康野菜いっぱい運動・コンポスト（設置型・ダンボール）の普及
 - ・ゴーヤカーテンの設置・市より生ゴミ減量化推進事業の受託
- (4) あかね部会
 - ・「疫病退散を願って！ガリ版でメッセージカードづくり」を実施し、各地に展示
 - ・シニア世代の仲間づくり、生きがいづくり
 - ・市結婚サポート連絡会に参画・拠り所創造事業へ参画
- (5) 万葉ロマンの里づくり部会
 - ・あいがもけんぶん塾（蒲生コミセンと協働で開催）
 - ・マックスクラブ（わくわくチャレンジ探検隊）への参加
 - ・広報誌がまチョコに「がもうの話し」を連載
 - ・「（一社）がもう夢工房」と連携
- (6) 地域活性化部会
 - ・特産新品種栽培管理（果樹植栽後の育成管理、収穫）
 - ・コスモス栽培による見せる（魅せる）農業の実践
 - ・蒲生スマートインター周辺の市有地を有効利用
 - ・「（一社）がもう夢工房」と連携



【健康講座】



【大型金属性資源回収】



【ガリ版でメッセージカードづくり】



【果樹収穫】

いつも、いまも、これからも。

PIONEER CITY

東近江イズム。 HIGASHIOMISM

地の利、人の和、自然の恵み。
まちを包むうるおい、にぎわい、ここちよさ。
時代を変えてきた歴史への誇りを胸に、
新たな時代を拓く人がいる。
いつも、いまも、これからも。あなたとともに。

パイオニアシティ・東近江市

【東近江市概要】

- 面積 388.37 km²
 - 人口 113,798 人
 - 世帯数 45,336 世帯
- (令和2年10月1日現在)



【発行】令和3年3月

〒527-8527 滋賀県東近江市八日市緑町10番5号

東近江市総務部まちづくり協働課 TEL 0748-24-5623 <http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>